

CSR REPORT 2020



リサイクルで未来を創る



クリーンシステム

株式会社クリーンシステムは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

限りある資源を大切に 私たちは地域とともに



選別施設



圧縮梱包機



二軸破碎機

MSプロジェクト (Move Selection Project)

当社本社工場に隣接する須川の水害対策改修工事に伴う土地取用をきっかけとし、2010年に大規模な施設移転計画（Move Selection Project）が発足しました。計画も佳境となり、本社新事務所、RCプラントに続いて2019年度は保管ヤード、選別プラント、圧縮プラントが完成しました。

- 工事履歴
- 2018年3月 RCプラント 竣工
 - 2019年8月 西側保管ヤード 竣工
 - 2019年8月 南西側保管ヤード 竣工
 - 2020年3月 選別プラント 竣工
 - 圧縮プラント(破碎施設・圧縮梱包施設) 竣工

【選別施設】
選別のライン化及び風力選別機導入による選別機械化により、労働環境の改善および作業負荷の軽減が実現しました。さらには埋立処分量の削減が可能となり、より一層リサイクルに努めて参ります。

処理能力 : 320m³/日・8時間
 廃プラ類、紙くず、木くず、金属くず、がれき類、ガラスくず等、繊維くず、汚泥

【圧縮梱包施設】
今回新たに導入した圧縮梱包機はプラスチックや紙類などの可燃廃棄物をおよそ50tの力で圧縮することにより、効率的な運搬と埋立処分量の削減、さらには梱包作業の効率化が実現しました。

処理能力 : 370.9t/日・12時間
 廃プラ類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず等



圧縮梱包物

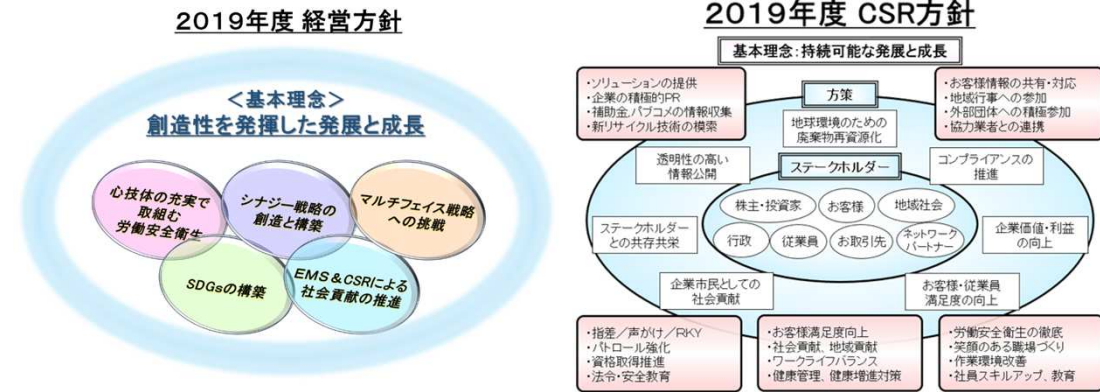
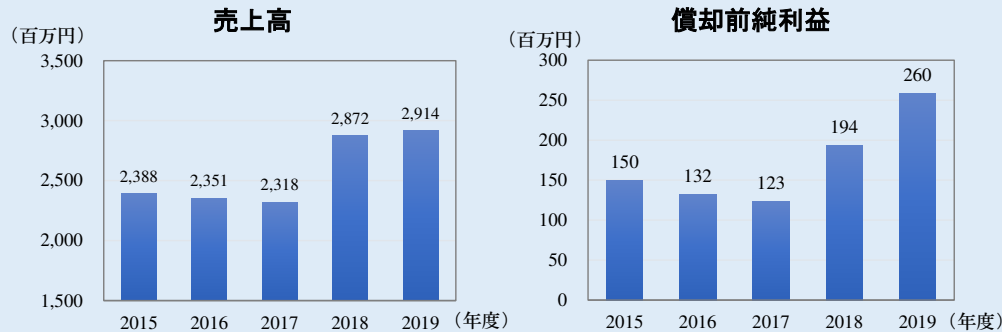


2020年4月1日選別プラントにて

商号	株式会社クリーンシステム (英)Cleansystem Co., Ltd	従業員数 120名(嘱託、パート職員等含む)	
代表者	代表取締役 鈴木 隆	所属団体	一般社団法人 山形県産業資源循環協会 一般社団法人 山形県解体工事業協会 山形再生骨材協同組合 NPO 北日本木材資源リサイクル協会 一般社団法人 日本PCB全量廃棄促進協会
設立	1978年(昭和53年)2月		
資本金等	2億円(資本準備金を含む)		
所在地	本 社 山形県飯塚町字中河原1629番地の5 関東支店 千葉県柏市新十倉二7-8		
関連会社	有限会社県南チップ、有限会社宇佐美製材所		

(2020年3月31日現在)

事業推移



クリーンシステムのCSRとSDGs

当社では本社RC施設の建屋にSDGsの目標を示す17のアイコン、鋳物町のCSRステーションには17の色の円マークを掲示しており、SDGsへの取組として、SDGsの理念と姿勢を示しております。環境問題への対応、安全で魅力ある職場づくり、積極的な情報公開、社会貢献などを重視してきた当社では、「CSRはSDGsの一部」と捉え、様々な取り組みを進めております。廃棄物の適正処理、循環利用という当社の事業内容自体が社会の持続的発展に欠かせないものです。さらに中小企業が行う事業とSDGsを関連付けることが、「100年企業」を目指す上で欠かせないとの考えに基づいております。社員の胸にSDGsのマークを入れるなど、啓発活動にも力を入れております。



本社RCプラント

2019年度環境活動報告

廃棄物リサイクル事業

排出事業者

収集運搬

38台の車両を保有しており、廃棄物の状態やお客様のニーズに合わせた車両で収集運搬を行っています。



選別、破碎等

場内に搬入された廃棄物は異物等が取り除かれ、当社の各リサイクルプラントへ運ばれます。



再生利用

66,509 t

各リサイクルプラントに持ち込まれた廃棄物は、リサイクル製品に生まれ変わります。紙や木、コンクリートはほぼ100%のリサイクル率を達成しております。

埋立処分

9,309 t

当社でリサイクルができない廃棄物は、破碎又は圧縮梱包後に信頼できる委託業者にてリサイクル、焼却若しくは埋立処分し、適正処理を行っています。

トータル
リサイクル率
86.4%

リサイクル型解体事業

ブロック塀や木造住宅から大型ビルまで幅広い建物の解体工事に対応しております。

「資源の有効利用」を促すためには、いかに資源を再利用できるかがカギとなります。当社ではリサイクル型の建物解体手法を通して、「生活環境の新たな創造」「再生資源化促進」のお手伝いをしていくことを基本に取組んでいます。

なお、分別解体された「廃棄物」は、クリーンシステムのリサイクル施設にて資源として生まれ変わります。



タイより3名の技能実習生を受入れております。



解体工事
リサイクル率
97.7%

主な再生製品と使用用途

木くず



原料チップ

生産量: 900 t
主に家具の材料として使用されるパーティクルボード等の原料として利用されます。



燃料チップ

生産量: 2,212 t
石炭代替燃料として木質バイオマスボイラー等で利用されます。



オガン粉

生産量: 4,088 t
酪農の敷ワラ材・水分調整剤等として利用されます。

紙くず・廃プラスチック類



RPF 生産量: 6,530 t
石炭代替燃料として製紙会社のボイラー等で利用されます。

がれき類



RC-40 生産量: 41,366 t
公共・民間工事の各現場で下層路盤材・基礎材・埋戻材として利用されます。

PCB全廃への取組



ポリ塩化ビフェニルは(以下、「PCB」)は、熱に対して安定で、電気絶縁性、耐薬品性に優れており、蛍光灯等の安定器や変圧器、コンデンサといった電気機器の絶縁油、塗料など、非常に幅広い分野に用いられておりました。しかし、人体への健康被害が報告され、その有害性から法律によって全量廃棄が決定しました。PCBの取扱いには専門的な知識が必要であり、処理できる施設も全国的に見ても限られております。また、PCBの処理期限は法律で定められており、期限までに処分しなかった場合には罰則もあるため、迅速な対応が求められます。

当社ではPCB関連の専門部署を設立し、PCBの処理に関するお困りごとを総合的に解決するワンストップサービスを提供しております。

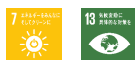
低濃度PCBの処理期限：2027年3月31日

PCB廃棄物の処理フローの例



2019年度PCB関連業務受注実績 官公庁：8件 民間企業：67件

2019年度CO2削減実績



当社でリサイクルした製品を使用することにより、石炭を使用した場合と比較すると、CO2排出量を抑制することが可能ですので、下表のとおり報告いたします。

また、太陽光発電事業も行っており、併せて実績を報告いたします。

項目	発電・製造量	石炭抑制量 (t)	CO2発生抑制量 (t-CO ₂)
燃料チップ製造量	2,212t	860t	2,071t
RPF製造量	6,530t	6,907t	6,387t
太陽光発電	55,850kWh	8t	19t
合計		7,775t	8,477t

抑制量は約365万リットルのガソリンに相当

= 乗用車で地球約1,400周できるガソリン量(燃費15km/Lで計算)



約1,400周

2019年度CSR活動一覧

地域の皆さまのために当社が実施している社会貢献活動、働きやすい職場づくりのために行っている社内活動をご紹介します。一部項目は次頁にて詳細を記載しております。

地球環境のための廃棄物再資源化	
果樹剪定枝の受入れ	農家を対象に13.71t無償受入れを実施し、全量リサイクルしました。
パートナーシップ協定	廃棄物の適正処理を円滑に行うため、県内企業2社と締結しております。
透明性の高い情報公開	
環境展への出展	やまがた環境展2019へ出展し、PCB処理に関して呼びかけを行いました。
会社情報の公開	当社ホームページ及び産廃情報ネットにて会社情報を公開しております。
コンプライアンスの推進	
コンプライアンス委員会の運営	法令、コンプライアンスを遵守した経営を行っております。
安全パトロールの定期実施	作業現場における労働災害の未然防止に努めております。
ステークホルダーとの共存共栄	
NEW 須川ライブカメラの開放*	須川の状態をリアルタイムで確認できるようになりました。
安全衛生大会の開催	協力業者を含め約170名が参加し、安全への意識を高めました。
施設見学者の受入れ	環境について学習する場として、見学者の受入れを行っております。
防災訓練への参加	山形解体工事業協会の会員として毎年防災訓練に参加しております。
芋煮フェスの開催	お客様とのコミュニケーションを大切に、約250名の方にご参加頂きました。
企業価値・利益の向上	
NEW 健康経営優良法人2020認定*	当社の従業員に対する健康支援が認められました。
針葉樹植苗事業の進展*	スギの苗木1,200本の出荷を行いました。
優秀安全運転事業所	交通違反者が僅少であることが評価され、銅賞を獲得しました。
アイデア提案制度	2019年は24件の社員による多彩なアイデアが経営に活かされました。
やまがた子育て・介護応援いきいき企業認定	働きやすい職場を目指し、育児休暇等の積極的な取得を推進しております。
女性会議の開催	女性目線のアイデアを積極的に経営に生かしております。
社員向けの教育・研修	各種安全教育をはじめ、ハラスメント研修等を定期的実施しております。
企業市民としての社会貢献	
NEW こども支援定期預金へ参加*	メインバンクの提供するSDGs定期預金に参加しております。
NEW 整備用具用プレハブの寄贈*	河川敷グラウンドに整備用具用プレハブを寄贈しました。
清掃活動の実施*	須川周辺や周辺道路の清掃活動を行っております。
エコキャップ等の回収活動*	回収品を換金し、老人ホームへ2台目の車いすを寄贈しました。
義援金の寄託	台風被害に遭われた方に対して社内で義援金を募り寄託致しました。
献血サポーター団体への登録	2019年度は社内外から累計50名の方へ献血のご協力を頂きました。
お客様・従業員満足度の向上	
NEW 働き方改革WPの発足*	働き方改革に対応すべく、プロジェクトを発足しました。
家族へのプレゼント企画	従業員の家族の誕生日に会社よりお祝いの品をお贈りしております。
営業情報紹介運動	成約案件の紹介者(社員)に対して褒賞を行っております。

※次頁にて詳細を記載

CSR活動報告

ふるさとの川愛護活動・マイロードサポート事業



当社は山形県河川愛護活動団体及びマイロードサポート事業団体に登録しております。本社を囲むように流れる須川周辺の清掃活動を毎週、近隣の国道・県道の清掃活動を月に一回以上行っております。また、今年度も山形県民河川愛護デーには当社協力会員を含めて100名超の規模で清掃活動を実施しました。

回収されるゴミの量は年々減っており、こうした地道な取り組みの成果である大変嬉しく感じております。



ガソリン供給等に関する協定書締結



2020年3月、大規模災害が発生しガソリン供給が滞るような場合に、地域の方々当社燃料貯蔵施設からガソリンを無料提供し、地域の災害・救済・復旧対応のお役に立てればと提案させて頂きました。

近年では台風の大型化や地震等の天災が心配され、また東日本大震災から約9年以上が経過し震災の記憶・防災意識が風化しないようにとの想いも含んでおります。



参考：2020年3月3日山形新聞

ペットボトルキャップ・プルタブ等回収活動による車いす寄贈



これまで当社協会の共同で回収してきたエコキャップやプルタブを換金し、2019年10月に山形市沼木にある特別養護老人ホームへ車いすを1台寄贈しました。施設長をはじめ、職員、入居者の方々が大きく出迎えて頂き、大変喜んで頂きました。

今回は2017年に続き第2号となります。第3号の寄贈を目指し、この活動を続けて参ります。



グラウンド整備用具用プレハブの寄贈



2018年秋、飯塚橋東側に町内会管理の河川敷グラウンドが2面設置され地域の方々のスポーツ振興に活用されておりますが、残念ながら整備用具を入れる設備がなく、管理する方々の悩みでもありました。

そこで、2019年6月に当社から地域貢献活動の一環として、小さいながら頑丈なプレハブを寄贈させて頂きました。



働き方改革ワーキングプロジェクトの発足



当社では2019年4月1日より順次適応されました働き方改革法案に対応すべく、働き方ワーキングプロジェクトを発足しました。このプロジェクトでは各担当部署の作業を見直し、新たなシステムの導入を検討する等作業の効率化を図っております。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークを想定したWeb会議システムの導入も早々に進められました。

従業員全員が仕事とプライベートの両立を図れる働きやすい職場を目指して今後もプロジェクトを進めて参ります。

針葉樹種苗事業の進展



近年、「カーボンニュートラル」の考えから環境に良いとされる木質バイオマス発電所が全国的に増加しております。その結果山林の木々の伐採が進行し、伐採後に植樹する苗が不足する新たな問題が発生しております。そこで当社では2017年度より、山形県と共同で針葉樹種苗のより良い育成方法を探る研究を開始しました。

2019年度には1,200本の初出荷を実現しました。将来的には少花粉スギ(花粉の量が従来1/100)の生産も視野に入れ、生産本数の増産を目標に今後も取り組んで参ります。



<播種から1ヶ月後>

<播種から1年後>

2019年生産本数：16,000本



目標生産本数：71,000本

須川ライブカメラの開放



この度、須川の状況確認を目的としたライブ配信用のカメラを設置いたしました。

2019年に発生した台風19号の際には強風と大雨の中、氾濫の危険のある須川に近づくことができず、「須川の様子を安全に確認する手段」の必要性を感じ、そして近郊にお住いの方にも情報提供をできればと考え、ライブカメラを設置する運びとなりました。

「須川ライブ映像」はどなたでも当社ホームページからご確認いただけます。台風等の影響で須川の様子を確認したい場合には、是非当社ホームページの配信映像をご活用ください。



当社HPより

健康経営優良法人2020認定



「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的視点で考え、戦略的に実践することです。従業員への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性向上等の活性化をもたらす、結果的に業績向上に繋がることを期待されます。

健康経営優良法人の認定制度は、経済産業省が健康経営に取り組む法人を社会的に評価する環境を整えようと2017年度から始まり、山形県の企業では大規模部門で6法人、中小規模部門で当社を含め114法人が認定されました。

当社は、山形市が推進している「山形市健康ポイント事業SUKSK(スクスク)」に事業所として参加、社内オリジナルの健康保持増進運動、予防接種の全額補助、保存有給休暇制度、ソフトバレーボールなどの運動機会創出等による従業員に対する健康支援が認められました。

引き続き従業員が健康で安心して長く働ける職場づくりを目指して参ります。



子ども支援定期預金への参加



当社メインバンクが提供する、預金残高に応じて「子ども食堂」などに取組む支援団体等に対して寄付を行う口座へ預入をしております。

引き続き当社の事業活動だけでは貢献が困難なSDGsに対して、様々なかたちで貢献して参ります。





クリーンシステム



クリーンシステムの情報閲覧はこちらで！
HP <http://www.csyam.com/>

SNS始めました！



Facebook



Twitter

フォロー&いいね！お願いします